

待ちに待った 廃材遊びの日

年少

2026年3月



お家からたくさん寄付していただいた廃材を使って、制作を楽しみました。

「僕はワニを作る!」「私はピンクのうさぎ♡」と、それぞれ作りたいものをすぐにイメージしていました。でも、初めての遊びだったので、想像を形に表すことに最初は少し戸惑う様子も見られました。



保育者と一緒に材料を見ながら考えていくと、

「大きい箱に小さい箱をくっつけたら面白そう!」「ここにお花をつけたら可愛いかも!」と、ワクワクするアイデアがどんどん出てきました。

鋏を使っているとお約束を守りながら、「ここをこうやって切ると…お!いい感じ!」と新しい発見もありました。お友達が作っている様子を見て「やってみたい!」という気持ちが広がり、作品づくりに夢中で取り組み、まるで小さな職人さんのようでした。



制作を通して、子ども達はさまざまな廃材の素材に触れ、サクサク切れるものや、硬くて切りにくいものがあることに気づき、セロハンテープの扱い方も少しずつ上手になっていきました。



廃材に加えて、画用紙やシール、テープ、毛糸なども使いました。試行錯誤しながら自分の作りたい形に近づけていく姿が見られました。出来上りの満足した笑顔は「自分でできた！」という自信に繋がったように感じられました。安全を見守りながら、難しいところだけ手伝いましたが、子どもたちの豊かな発想力と創造力に何度も驚かされました。

完成した作品を手にするると、ごっこ遊びがスタート！

動物電車には「わあ～乗りたい！」と、ウサギさん達が集まり、楽しそうに遊ぶ姿も見られました。夢中になって作っていると時間はあっという間。

「今度はもっとすごい作るぞ！」と、次回の廃材遊びにも気合十分な苺組さんでした。

